

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：6月ドイツ I f o 企業景況感

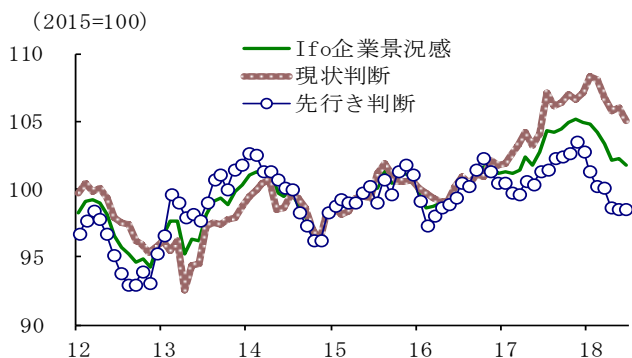
発表日：2018年6月25日(月)

～まだ安心はできない～

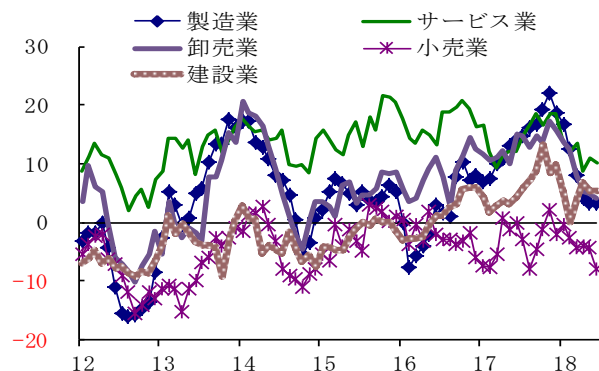
第一生命経済研究所 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

- 6月のドイツの I f o 企業景況感（2015年=100の指数）は101.8と前月から0.5ポイント低下。前月に僅かに持ち直した（前月差0.1ポイント増）のを除けば、昨年12月以来、6ヶ月のうち5ヶ月で前月から低下している。内訳は現状判断（前月：106.1→今月：105.1）が2ヶ月振りに低下した一方、先行き判断（98.6で前月から横ばい）が7ヶ月振りに落ち込みを回避した。
- 業種別の先行き判断（ゼロが分岐点）は、小売業（▲4.3→▲8.1）のマイナス幅が拡大、サービス業（+11.0→+10.2）と卸売業（+5.0→+4.1）のプラス幅が縮小した一方、製造業（+3.2で横這い）と建設業（+5.2で横這い）が前月から不変。
- ヘッドラインの落ち込みは現状判断が主導したもので、景気動向との連動性が高い先行き判断の落ち込みに歯止めが掛かってきた点はポジティブに評価できる（前月の先行き判断の落ち込みも前月差▲0.1ポイントと小幅にとどまった）。年明け以降の企業マインドの押し下げにつながった要因が一巡してきたものと考えられる。ただ、製造業が底堅く、内需部門が低調な今月の I f o 計数は、22日に発表された同月のPMIと正反対の動きで、やや違和感も覚える。米欧間の貿易摩擦が自動車分野に拡大する恐れもあり、来月以降の先行き判断や製造業の業況判断は再び悪化する可能性がある。

■ドイツ：I f o 企業景況感



■ドイツ：業種別の先行きの業況判断



■ドイツ I f o 企業景況感

	2017		2018		2017		2018									
	3Q	4Q	1Q	2Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
企業景況感(総合)	104.3	105.0	104.1	102.1	104.2	104.4	104.9	105.2	105.0	104.8	104.2	103.4	102.2	102.3	101.8	
現状指数	106.6	107.0	107.8	105.7	106.2	106.4	107.1	106.7	107.2	108.4	108.2	106.8	105.8	106.1	105.1	
先行き指数	102.1	103.0	100.6	98.6	102.3	102.5	102.7	103.6	102.8	101.4	100.3	100.1	98.7	98.6	98.6	
業況判断	25.3	26.8	24.9	19.9	25.0	25.0	26.6	27.4	26.3	27.5	24.8	22.3	19.8	20.6	19.4	
製造業	30.9	32.9	30.6	24.1	30.9	30.6	32.3	34.4	32.0	34.0	30.4	27.4	24.3	24.1	23.8	
サービス業	31.5	32.2	30.5	26.4	31.1	31.9	31.9	32.0	32.8	31.5	30.4	29.6	26.1	27.1	25.9	
卸売業	23.8	24.1	23.8	16.6	22.2	23.7	21.9	25.4	25.1	25.6	24.8	20.9	14.8	17.9	17.1	
小売業	5.0	8.0	6.1	4.4	2.0	5.0	8.7	7.5	7.9	9.2	7.1	1.9	3.3	7.5	2.5	
建設業	16.7	18.1	17.0	19.8	16.8	17.8	19.5	16.6	18.2	17.2	15.4	18.4	19.6	20.4	19.4	

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。